

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

この試合のプレー集計

男子Bリーグ戦

大阪選抜

3	[1	－	3]	15	山口県選抜
	1	－	3				
	0	－	5				
	1	－	4				

審判：

PSO
潮崎 正一
武松 直輝

大阪選抜	12	SH数	21	山口県選抜
	0	速攻数	3	
	4	ST・SB	10	
	1	SH・P誘発アシスト	4	
	6%	GK阻止率	25%	
	11	EX反則数	3	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

前回大会第4位の大阪と、中国ブロック1位の山口との対戦。大阪はエース⑤仁木を軸に、ゆったりとゲームを進める展開に持ち込めるか。対する山口は、積極的に泳いでカウンター攻撃で活路を見いだせるか。全くタイプの異なるチームの対戦となるだけに、自チームのペースをどちらが握るかが勝負の分かれ目になるだろう。

【1P】

両チームゆったりとした展開が続く中、山口が退水を誘発して⑨長尾が決めて山口が先制点をマーク。対する大阪も⑩山本が決めて同点にするが、山口はまたもや⑨長尾が決めてリードを奪う。さらに⑦濱川がタイミングのいいシュートを決めて大阪1－3山口で第1ピリオド終了。

【2P】

相変わらずゆったりペースの試合だが、その中で山口⑪長野がトップ位置からの勢いのあるシュートをゴールに突きさすと、山口ペースの水球に。徐々に攻防転換での泳ぎで大阪を上回るようになり、ゲームの主導権を握り始めた。山口のカウンター攻撃で⑦濱川、さらにゴール前で⑦濱川がペナルティを誘発してそこを自身が決めて一気に3連続得点。大阪もゴール前でペナルティ誘発で1点を返して前半を折り返した(大阪2－6山口)。

【3P】

このピリオドでは一気に山口がペースをつかんで、5連続得点で大きく突き放した。大阪は何とかリズムを取り戻そうとするが、焦りからミスを連発し、そこを山口が積極的に泳ぐ水球でペースをつかんだピリオドとなった。大阪側はほとんど何もできずに、一気に点差が開き、大阪2－11山口で第3ピリオド終了。

【4P】

大阪の反撃もどうしてもゆったりペースなので、山口に十分な守備隊形を敷かれてなかなか突破できず、その間に山口の前に出る水球スタイルでさらに加点。大阪はセンターに入る⑦赤木にボールが回らず、完全に攻め手を失う形になってしまった。試合終了直前に、セット攻撃から左サイドでエース⑤仁木が決めて1点を返すのがやっとという形で試合終了。大阪3－15山口で山口が初戦を取った。

大阪は攻めに時間を要してしまい、結局は攻撃時間内での有効な展開ができないままの試合となってしまった。セット攻撃での展開での外周の動きで、守備側の陣形をいかに崩して有利な攻撃に持ち込めるかが今後の課題であろう。山口は序盤、やや相手のペースを合わせた感があったが、徐々に試合慣れから本来の展開水球に持ち込めた形なので、このリズムを今後も継続して上位進出を狙ってほしい。